# CSW 70ユースレポーター報告書

渋谷教育学園渋谷高等学校
韓　シア

＜はじめに＞

私はCSW70にオンラインで参加させていただきました。はじめにお伝えしたいことは、画面越しでも現地の参加者の拍手や真剣にディスカッションをされている姿からジェンダー問題に対する熱意を感じられました。しかし、サイドイベントなどを通して実際の内容を聞くと、ジェンダー問題の厳しい現状について学び、各国にはそれぞれ課題がまだ沢山存在していることを再認識しました。まだ世界のどの国も完全にジェンダー平等を達成できていないという事実を会議中はっきりと言われていて、より真剣にジェンダー問題と向き合うモチベーションになりました。CSW70を通してこの現状を解決しようとしている方々の活動について知り、ユースレポーターとしてそれをこれからも発信していきたいです。

＜サイドイベント: Intergenerational Engagement for Advancing Young Women's Leadership＞

このサイドイベントでは若い女性によるリーダーシップをどのように促進していくべきかとその重要性についてパネルディスカッションが行われました。このイベントでUN WomenのSarah Hendriks 氏による開会のスピーチの途中に応援と発言の賛成を示す拍手が数回起こることなど、とても温かい雰囲気であったことが印象的でした。若い女性を育成するためにはメンターシップが重要であると強調され、特に政治分野においては若い女性の視点は欠かせないと言及されていました。そこで印象的だった言葉は "Nothing about them without them" でした。これは当事者が意思決定の場にいるべきであることを訴えられていました。私はこれは若い女性はもちろん、他にもLGBTQ＋当事者や他のマイノリティについても言えることであると思い、男性中心社会の裏には多くの方の声が意思決定の場では反映されていないことが明らかだと思いました。

若い女性の育成にメンターシップが大切である理由は熱意や知識だけでは社会、特に政治でリーダーシップをとることが難しいということです。政治ではシニオリティの文化が強かったり男性の人数が圧倒的に多いことから女性が政治の世界で昇進されにくい根本的な課題が残っています。その中でメンターシップは機関によるサポートが少ない中女性がお互いを支え合う環境作りに必須です。これに関連する話で一つ紹介させていただきます。

Ruth Cross-Kwansing氏のスピーチでAnnalena Baerbock氏が第80回国連総会議長に選出された時のお話を伺いました。彼女が議長に就任した後、少し体重が落ちていたことに気づいたらしく、働く女性の世話をする人はいないということの象徴的な出来事であったとおっしゃっていました。女性がリーダーになるためにはそれを実現可能とする制度が必要であり、メンターシップを通して自分のことを気にしてくれる人を確保することは重要であると感じました。

また、このイベントではメンターシップのプラットフォームのご紹介がありました。Young women's empowerment portal はオンライン上のプラットフォームです。ロールモデルとなる女性リーダーやプロジェクトの告知、メンターシッププログラムの案内があるもので政治にメンターシップを普及するとても心強いプラットフォームだと思いました。これからもこのプラットフォームが世界中に広まることを楽しみにしています。日本人女性のためにもこのようなものがあると政治や他の分野でのリーダーシップを向上するきっかけになると思いました。

＜サイドイベント: Young Women Leading Change: Shaping the Future of Peace and Governance＞
このサイドイベントは女性のリーダーシップだけではなく、特に若い女性と若い世代のリーダーシップに関するイベントでした。まず初めから最後のスピーカーから強調されていたことは若い世代の声、特に若い女性の声が意思決定の場で反映されていないことです。例えば1990から2022までの和平協定の中で12%しか若者に関する文章がない事実があります。このように若者は今の社会で非常に軽視されていることがあります。

このイベントは若者と女性のリーダーシップに関する企画であったため、女性支援に関わっている方だけではなく若者の育成に関わっている方もいらっしゃいました。その方々からは若者のリーダーシップ向上と女性のリーダーシップ向上は対立していないということを強くおっしゃっていました。逆に若者と女性は支えあっていくべきだと言及されていました。WPS (Women, Peace, and Security) のアジェンダとYPS（Youth, Peace, and Security)のアジェンダには共通点が沢山あり、並行して動くより交じりながらそれぞれのアジェンダを進める方がより大きい課題を乗り越えることができると改めて認識しました。メンターシップやネットワーキングは若者も女性も必要なものであり、協力し合うことによって必要なものを早く実現できることに繋がります。

このイベントでは地域社会の活動の重要さについても言及されていました。国連という国際的な場で行われるイベントであるからこそ主に各国の政府や大きなNGOの活動に重点が置かれると思いましたが、それ以外にも地域規模の活動についても説明がありとても興味深かったです。このイベントでは地域の団体や活動から女性が管理職につけるアクセスを設けることが大切であると説明されていました。地域の活動が積み重なると最終的にはより大規模な国際機関などにも広がり社会全体を変えることができます。私は地域規模の観点からの問題解決を考えず、国際機関などより大きいところから解決をする方が効率が良いと思ったこともあるので、社会を根本的な部分から変える時はトップダウンではなくボトムアップの手段が適切であることもあると学びました。

＜サイドイベント：Breaking Biases, Building Equality＞
私はCSW70を通して様々なバックグラウンドから来た女性の話を伺うことができました。その中で最も心に残った話はこのサイドイベントでの話でした。このイベントではラテンアメリカ地域の女性の現状とバイアスがどのようにジェンダー平等の阻止をしているかについて学ぶことができました。冒頭で衝撃的であったことは、このペースだと完全のジェンダー平等を達成するためには123年かかるという事実が語られたことです。私はこの数字を聞いて意識が引き締まった気がします。一人一人が性別関係なく、ジェンダー問題を向き合っていく必要があると思いました。

ドミニカ共和国についての話では女性が自分にバイアスをかけていると言及されていました。これはラテンアメリカだけではなく、世界中の女性が共感できることであると思います。女性が自分たちでバイアスをかけている原因としては組織的な課題が大きいからです。公共政策に女性を支援する政策や女性に関する社会課題の解決に与えられる資金などはは非常に少なく、女性が社会的に無視されているようなものです。ラテンアメリカでは女性が家の家事を主に担当する社会的意識が強く残っていてそれが女性にとって大きな壁となっています。これは日本も全く同じ状況にあると思います。

その中で私はElsa Gomez氏 のスピーチに感動しました。Gomez 氏はドミニカ共和国出身の起業家で解体工事のビジネスをしています。彼女は女性があまり働かない分野で起業をし、他の女性に希望を持たせる存在です。起業をできて今も働ける理由は夫からのサポートがあるからだとおっしゃっていました。やはり家事を女性に押し付けずにお互いの目標を尊重合う関係を築くのが女性のリーダーシップを向上させる方法の一つであると思いました。

＜最後に＞

私はCSW70を通して想像以上にジェンダー問題について学ぶことができました。ただ資料を通して勉強をするのではなく、CSW70の参加の一員として学べたからこそ画面越しでも現場のエネルギーが伝わったり、心が動かされたお話をお聞きできてとても幸せな時間を過ごせました。私はいつか現地でCSWに参加してよりアクティブに会議に参加したいと思い、これからの目標として個人のジェンダー問題に関する活動を続けたいと思います。鴨澤さんをはじめ、JAWWの皆さん、私にこのような機会をくださり誠にありがとうございます。まだ未熟な私を受け入れてくださり、ユースレポーターとしての活動を支えていただいたお陰でこれからの人生の見え方を変える経験をすることができました。いままで本当にありがとうございました。これからもお世話になることがあるかもしれませんがその時はどうぞよろしくお願いいたします。これを読んでいる皆さん、私は希望をなくさずジェンダー平等に向けた活動をお互いこれからも頑張りたいと思います。これを読んでいただいた皆さんもこの報告書を通してそれぞれの活動を継続するモチベーションに少しでもなったら幸いです。

## 本報告書に紹介していないのサイドイベントの報告

**Women Judges Holding the Line: Strengthening Women's Justice Leadership Through the Gender Justice Platform**

https://docs.google.com/document/d/1ii23UxaRXzGHMym2ZiXYhdmgQC_h8NH52NUnQWTHQsw/edit?usp=sharing

**Women Must Be at the Table: A Simple Suggestion to Improve Meaningful Access to Justice for All Women**

https://docs.google.com/document/d/1OKQrsYrIF6y219bO-oTd19O6xjKkM-q6gme2KQMTJZ0/edit?usp=sharing